



「三重ぐるり」のコーナーでは、毎号テーマを1つ設け、そのテーマに沿った三重県内の市民活動団体を紹介しています。今号のテーマは【在住外国人】。

在住外国人の人権、外国籍の子どもの教育、多文化共生、異文化交流、国際交流などをキーワードに県内各地の市民活動（支援）センターと連携をし団体の方にお話を伺いました。気になる団体や活動は三重ぐるりりでチェックしてくださいね。

ASANTE SANA (アサンテ サアナ)

情報提供：特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター



学習風景です。

ASANTE SANA (アサンテ サアナ) は、スワヒリ語で「どうもありがとう」と、という意味です。外国の方への日本語支援教室と、外国人児童への学習支援教室をボランティアで開いています。私の住む地域には、外国の方が多くみえます。でも、なかなかお互い交流を持つ機会がありません。その理由の一つに、「お互いの言葉が理解できない」ということがあります。でも、外国の方が日本語を勉強したくても、私の住む地域には学びの場がありません。そこで、「日本語教室を作って、外国人の方と交流を持とう」と思って、会を立ち上げました。日本語を話せなければ、日本人の知り合いはなかなかできません。日本語が読めなければ、日本での暮らしはとても不自由なものです。だからこそ、日本語を知りたい方たちに、少しでも日本語向上のお手伝いができれば、と思っております。そして、「日本に来てよかったな」と思ってもらえるよう、私たちは応援しています。

ひと言 PR!

今までに、ブラジル、ペルー、中国、インド、ロシア、ベトナム…など、たくさんの国の方と交流してきました。桑名で世界の方と知りあえる、とても楽しい会です。興味のある方は、ぜひ一度、覗いてみてください。

桑名市 ☎ 090-6079-4343 ✉ hibino@orion.ocn.ne.jp

日中友好協会四日市支部

情報提供：四日市市なやプラザ運営委員会

「外国の人が、ごみを規則通りに捨ててくれない」と地域の方から相談があると、市や県の窓口を紹介したり、以前は会員に頼み、わかりやすい中国語のパンフレットを作ったりしました。また、四日市日本語学校で学ぶ学生を設立時(1991年)から支援しています。当初は天津市(四日市市の友好都市)からの方ばかりでしたが、現在は、ベトナム、中国、ペルー、韓国、台湾、アフリカなど多様。みなさん本当にまじめで午前は勉強、午後はバイト。日本語検定2~1級に合格して大学に進学します。せっかく日本にいても、ほとんど遊びに行けない彼らのために年に一度、お花見会(日用品が当たるビンゴゲーム、焼き肉パーティー)や「日帰りバス旅行」で、日本の素晴らしい場所を觀てもらい、喜んでもらっています。今、日中は政治的にぎくしゃくしています。最近も知人が恐ろしく中国に行ったが、とても良くしてもらい驚いたそうです。マスコミにあおられずに、人間と人間、こうした交流を持って、お互いの理解を深め仲良くすることが一番だと思えます。



「お花見会」の思い出も差し入れ持って参加します

ひと言 PR!

資金は、会員が四日市でのお祭り等で肉まんやお菓子を売って作ります。日用品(石鹸、タオルなど)が不足しています。寄付など大歓迎です。

四日市市諏訪町9-18 ☎ & FAX 059-354-0620

公益財団法人 鈴鹿国際交流協会

情報提供：鈴鹿NPOサポートセンター

海外旅行に行ったとき、ジェスチャーを交えながら拙い外国語でも一生懸命説明したら現地の方が理解しようとしてくれた経験はありませんか。日本で生活している外国人の日本語力はそれぞれ違いますが、日本語を使ってコミュニケーションをとろうとしているときは、まさしく私たちが海外で経験したような場面です。日本での生活が長くなっている人も増え、やさしい日本語でなら、コミュニケーションをとれる人が増えてきました。日本社会において在住外国人が増加するに伴い、各言語でのお知らせも充実してきましたが、日本語で話してみたとき通じない言葉をやさしい言葉に言い換えたり、絵をかいてあげることで分かり合えることがたくさんあります。私たちは、やさしい日本語での広報の発行や、料理を通して在住外国人の文化に触れる活動、日本人と外国人が一緒になって実施する交流イベント等を行っています。



国際交流フェスタでは、心を一つにしてワカ国語で歌いました。

ひと言 PR!

地域に住む外国人の皆さんが、社会に溶け込み日本人と仲良く、楽しく過ごせるよう活動しています。多文化共生、国際交流に興味ある方は、国際交流協会に遊びに来てください。

鈴鹿市神戸1-18-18 ☎ 059-383-0724 ✉ sifa@mecha.ne.jp

ゆうあい日本語の会

情報提供：特定非営利活動法人 なぱりNPOセンター



2014年春の交流会(お花見)の様子。

伊賀市総人口の外国人の占める割合は4.44%(平成24年度現在)。定住化が進んでいく中で、日本語の読み書きができない、病院や行政などの専門的な日本語が分からないといった外国人が多く、日本語が分からないために行政サービスを利用することや日常生活上での必要な情報を得ることができないなどの問題が出てきています。さらにコミュニケーション不足から地域の中で孤立してしまうという状況が生まれています。こういった諸問題のために「ゆうあい日本語の会」は日本語指導を架け橋とする国際交流を目標として2000年に設立し在住外国人の日本語指導を行ってきました。さらに現在は正しい日本語を教えるために知識と技術を身につけた日本語指導者の人材の養成も行い、在住外国人の現状への理解を深め、多文化共生の理念を身につける活動をしています。今後の課題として在住外国人と行政、ボランティア団体とのネットワークを深め、さらに、在住外国人を支援できるしくみづくりをしていきたいと考えています。

ひと言 PR!

ALT(外国語指導助手)や、結婚を機に来日するなどさまざまな理由で日本語を学びたい外国人に日本語指導を行っています。交流会も開催していますので日本語を学びたい方、お気軽にご連絡ください。

☎ 0595-64-2080(岡村)

特定非営利活動法人 伊賀の伝丸

情報提供：伊賀市ゆめぼりすセンター

三重県は約 100 カ国の外国人が暮らす多文化な地域です。1999 年「心とこころを伝えてまわる」を合言葉に団体を設立、外国人とのコミュニケーションのお手伝いをしています。約 10 言語の外国語とやさしい日本語（日本語が堪能で



多言語読み聞かせ会開催の様子

ない人にも理解しやすい日本語）での通訳翻訳事業を中心に、語学講座や無料生活相談、多文化理解講座などを行っています。ここ数年力を入れている事業は 2 つ。1 つは、「外国人を含めた地域住民が、ご近所づきあいを通じて災害時にも助け合える関係を築くお手伝い」です。「巻き寿司講座」で日本文化を紹介しつつ一緒に食事をし、顔見知りになる。こんな企画を成功させるために、一昨年、外国人の誘い方や多言語チラシの作成方法を掲載した『多言語コミュニケーション応援キット』を作成しました。2 つ目は「外国にルーツのある子どもたちへのサポート」です。学習支援や多言語絵本の読み聞かせの活動では、きらきら輝く子どもたちの目に元気をもらいつつ活動しています。

ひと言
PR!

「言葉の壁をのりこえて、ともに住みよいまちづくり」をコンセプトに、会員 56 名と通訳登録者約 150 名と活動しています。伊賀市だけでなく、津市や木曾岬町など県内各所に出発します。見かけたときは、ぜひ声を掛けてください!

伊賀市上野東町 2948 ☎ 0595-23-0912 ✉ info@tsutamaru.or.jp

初期日本語教室「きずな」

情報提供：津市市民活動センター



市民ボランティアと創る学びの空間

津市では、市内に住む日本語が全く話せない外国人児童・生徒に対して、平成 24 年 4 月より初期日本語教室「きずな」を開設しました。毎日 2 時間ほどのマンツーマンの指導による日本語指導を行っております。現在、60 名を超える幅広い年代の人々に市民ボランティアとして関わっていただいています。初期日本語教室「きずな」に通室する子どもにとって、日本語を学ぶ場でもあり、さまざまな人とのつながりを実感できる場にもなっています。市民ボランティアにとっては、子どもたちとのふれあいから、自身の外国や外国人へのイメージが見直されるという多文化共生を促進する側面も併せ持っています。今では、津センターパレス内の初期日本語教室「きずな」に通えない子どもたちのために、在籍校で初期の日本語を学ぶ「移動きずな教室」も実施し、日本語を必要とするすべての子どもたちが学べるように今後も活動していきます。

ひと言
PR!

日本語指導ボランティアを募集しています。ぜひあなたの力を貸してください!

津市西丸之内 23 番 1 号
津市教育委員会事務局人権教育課（担当：大西、増地、浦田）
☎ 059-229-3249 ✉ L2874@city.tsu.lg.jp

松阪国際交流協会

情報提供：松阪市市民活動センター



「いっぽ教室」のようす

松阪国際交流協会は、県内でも珍しい民間主導の国際交流協会です。英語圏との交流、ホームステイ受け入れを目的に、1992 年に設立されました。しかし設立当初 1000 人未満だった松阪在住の外国人数は 3500 人以上へと増加。フィリピンを中心

にアジア、南米など、多国籍化が進んでいます。そこで近年では現在松阪に住む外国人が抱える問題にスポットを当て、教育委員会との連携で「外国人児童へ向けた日本語指導」に取り組んでいます。外国人の子どもが就学時期に日本語が話せず、学校で孤立しがちである、という教育現場の課題を解決しようとするもので、子どもたちの「最初の一步」をサポートする「いっぽ教室」と名付けています。対象は保育園児から中学生まで。学校がある日は毎日（午前中）、ボランティアスタッフがゲームなどを交えながら、楽しく、日本語や日本の生活習慣が分かるプログラムで、マンツーマンの指導にあたっています。この教室に来ることで、子どもが明るくなり、学校に楽しんでいくようになった、などの成果も表れているようです。

ひと言
PR!

今年 9 月 19 ~ 21 日にベトナムの学生が来日します。現在、松阪市近郊でホームステイの受け入れをしてくださる方を募集しています。詳しくは、同協会へお問い合わせください。

松阪市黒田町 98 ☎ 0598-21-5126 ✉ http://www.m-ifa.net/

NPO 日本語支援「てらこや塾」

情報提供：いせ市民活動センター

来日して間もない児童生徒に、初期適応の日本語教育を速やかに行うことは、学校生活をともにする日本の子どもたちにとっても大事なことです。ところが、この課題解決への展望がなかなか見えてこない現状があります。ならばと慶蔵院「てらこや塾」で予算を組み、過去 3 回、集中的に 3 カ月間、3 人の外国人児童に午前中 3 時間の日本語指導を毎日行ってきました。しかし、その取り組みが公的に必要なものとして理解されるには至っていません。ベトナムでは第二外国語として中学・高校で日本語が学ばれ、日本語学習熱はますます高まっています。「てらこや塾」では、全国から支援をいただいて、「スカラシップの会」として、ベトナムから無償で 6 週間、中高生を日本に迎え、日本語指導を行っています。今年で 4 回目、計 19 名が来日しました。行政にはこのような民間が持っている「ちから」をもっと活用できるよう、地域連携を強めてほしいと願っています。



お寺（慶蔵院）の一室で勉強をする子どもたち

ひと言
PR!

「てらこや塾」では、外国人児童生徒および地域の外国人に無料で日本語教育の支援を行っています。併せて、学習支援も実施しており、そこには日本人の児童生徒も無料で、毎日勉強に来ています。

伊勢市小俣町元町 1211 ☎ 0596-22-3726